



第23回中小商工業全国交流・研究集会

## 中小業者の力が発揮できるローカル循環を

HP・メールニュース〈No.3〉

2025年8月5日

参加申し込みの締め切り（8月8日（金））が迫り、各民商から団体申込みや問い合わせが寄せられています。民商では、オンラインの利点を生かした準備が進められています。物価高騰下の経営対策の知恵と力となる多彩な企画の準備も進められています。全ての民商から参加しましょう！商工交流会の情報や魅力、準備状況などをHP・メールニュースでお届けします。

（このメールニュースは県連から民商にお送りください）

**\* 全商連 HP の商工交流会特設ページを随時リニューアルしています \***

<https://www.zenshoren.or.jp/shoukou-kenkyushukai>

### 企画4 基礎講座「経営計画を事業に生かす」

講師 彌永巧児さん 第一経営相談所

9月7日(日)16:30～18:30

市場の変化、技術革新、競争の激化、新型コロナ、自然災害など先行き不透明な時代だからこそ、進むべき道を示す羅針盤が不可欠です。その羅針盤が、経営計画です。基礎講座の講師は、商工新聞や雑誌『中小商工業研究』で企画を連載している彌永さんが務めます。連載企画を通じて、多くの民商会員を取材している経験から、中小業者の目線にたった事業計画づくりについて解説します。具体的には、「なぜ、今経営計画が必要なのか」「経営計画を自社の経営に生かすためのプロセス」「経営計画がもたらす優位性」——などを柱に、民商会員の実践例を踏まえた講義を行います。

講義に先立ち、一関民商の2人の会員が事業計画を生かして、経営を伸ばしている経験を報告します。1人は、合同会社後藤林業の後藤幸枝さんです。下請けからの脱却・元請け受注の確保を目指して、小規模林地および雑草・雑木刈払いサービスといった新規展開について報告します。もう一人は、合同会社咲seedの渡邊淳子さんです。農業とドレッシング生産を軸にしなが、新たな市場を開拓している経営実践を報告します。あわせて、山口伸事務局長が民商での経営計画づくりの取り組みについて報告します。

### 企画6 業種別分科会「製造業」

9月13日(土)13:00～15:00

助言者 吉田敬一(駒澤大学名誉教授)、山本篤民(日本大学教授)

日本経済を支える中小製造業の役割を確かめ、参加者同士で経営実践の交流を深め

合うことをテーマに開催します。助言者の一人の駒澤大学・吉田敬一名誉教授からは、「中小製造業をめぐる諸課題と経営努力の課題」をテーマに、ローカル循環の基盤となる、中小製造業の価格転嫁・公正取引の現状、求められる経営努力の課題を中心に報告いただきます。

併せて、分科会の助言者であり、地場産業を中心に研究する日本大学・山本篤民教授が、スリッター加工、プレス加工、旋盤加工、刃物鍛造業を営む4人の報告者の経営実践を深掘りする機会も設けます。業種別交流会らしく、参加者からの経営実践の報告やお悩み相談も大歓迎です。

全体会・記念講演 テーマ「人々の暮らしと文化を支える地域の中小企業」(仮)  
山本篤民 (日本大学教授)

第23回  
**中小商工業  
全国交流  
研究集会**

共同の力で公正な  
経済社会を確立しよう  
中小業者の力が発揮できる  
ローカル循環を

お申込み受付中 8月8日(金)まで  
日時  
2025年9月5日(金)・6日(土)・7日(日)  
12日(金)・13日(土)・14日(日)

\*\*\*\*\* 《参加費と参加申し込みについて》 \*\*\*\*\*

〈参加費〉 個人参加 1人 3,500円 学生1人 2,000円  
団体参加 5人以上 15,000円

〈申し込み方法〉

- ◇ 個人参加をお申込みの方は「個人参加申込書」を、団体参加をお申込みの方は「団体参加申込書」と「団体参加 参加者事前登録用紙」を FAX (03-3988-0820) または、メール (seisaku@zenshoren.or.jp) でお送りいただき、参加費をお振込みください。締め切りは8月8日(金)。
- ◇ 詳細は、全商連 (<https://www.zenshoren.or.jp/shoukou-kenkyushukai>) をご覧ください。

主 催 第23回中小商工業全国交流・研究集会 実行委員会  
お問い合わせ 電話 03-3987-4391 / ファクス 03-3988-0820  
メール [seisaku@zenshoren.or.jp](mailto:seisaku@zenshoren.or.jp)